

ほーほーどり

我孫子野鳥を守る会

No. 201

2008年

3～4月号

行 事 案 内

3月手賀沼探鳥会とカウント

期 日 3月9日(日) 雨天中止
集 合 我孫子市役所 午前9時
案 内 カモ類などの冬鳥が北の方へ旅立ち始めます。南の方からはツバメやコチドリなど早い夏鳥が姿を見せる季節です。周りの田畑も注意して観察しましょう
解 散 正午
担 当 佐々木、松田、桑森、野口(紀)、小林(寿)、北原

持 物 観察用具、雨具、防寒具、昼食(途中のコンビニで購入可)
交 通 自家用車分乗。車を提供できる方は申込の際その旨ご連絡下さい。同乗者は運転者に一人 1,500円をお渡し下さい。
申 込 諏訪哲夫まで
〒270-1111 我孫子市古戸 230-6
Tel 04-7188-7137
担 当 諏訪哲夫、田中功

三番瀬・谷津干潟探鳥会

期 日 4月13日(日) 雨天中止
集 合 我孫子市役所 午前9時
案 内 冬から夏へ鳥たちが入れ替わる季節です。久しぶりに会えたら嬉しいですね。鳴き声にも気をつけて注意して観察しましょう。
担 当 松田、桑森、小林(寿)、野口(紀)、北原、佐々木

期 日 4月19日(土) 雨天中止
集 合 我孫子駅改札口 午前8時
交 通 8:04 我孫子駅発 8:08 柏駅着
東武野田線に乗り換え 8:15 柏駅発 8:49 船橋駅着。京成船橋から京成バス(9:00発)に乗り船橋海浜公園下車。三番瀬探鳥後、京成バスに乗り二股新道で下車、二股新町駅で京葉線に乗り南船橋駅で下車し谷津干潟探鳥。切符は各自購入ですが、我孫子から東武船橋駅まで通しがお勧めです。

北本自然公園探鳥会

期 日 3月16日(日) 雨天中止
集 合 我孫子駅北口 午前7時30分
案 内 数多くの冬鳥や水鳥が期待できます。

案 内 東京湾の干潟で春の渡りのシギ・チドリを探鳥します。
持 物 観察用具、帽子、雨具、飲み物、弁当(途中購入可)
申 込 不要(我孫子駅に集合したメンバーで実施します。)
担 当 桑森、松田

筑波山探鳥会

期 日 5月3日(土) 雨天中止
集 合 我孫子駅北口 午前7時
案 内 恒例のゴールデンウィーク探鳥会
は日本百名山の一つ筑波山です。
本隊(健脚向き)は筑波山の裏側
から探鳥しながら御幸ヶ原に登り
ます。別隊(一般向き)は筑波山
神社で探鳥した後、ケーブルカー
で御幸ヶ原に向かい本隊と合流し
ます。その後、男体山を周遊する
自然研究路を一周して裏側から下
山します。ソウシチョウ、オオル
リ、コルリ、ツツドリの美声と姿
に出会えるでしょう。
持 物 観察用具、雨具、昼食(途中購入
可)
交 通 自家用車分乗です。同乗者は一人
1,500円を運転者にお渡し下さい。
なお、申込みの際、自家用車を提
供可能な方はその旨ご連絡下さい。

申 込 野口隆也まで(本隊、別隊の希望
をお知らせ下さい。)
Tel/Fax: 04 - 7163 - 7898

担 当 染谷、野口(隆)
注 意 ケーブルカー利用者は別途片道大
人 570円、子供 290円必要です。

3月幹事会開催のお知らせ

日時 3月9日(日) 13:30~16:30
場所 アピスタ1F 工芸工作室
議題

1. 総会提出資料の検討
H19年度事業報告及び決算案
H20年度事業計画及び予算案
2. 会報 202号記載記事について
3. その他(議題を提出する場合は事務局
まで連絡ください。)

行 事 報 告

12月手賀沼探鳥会とカウント

調査日時 2007年12月9日 9:00~12:
00 晴れ・弱風・気温13

<認めた鳥> カイツブリ、ハジロカイツブリ、
カンムリカイツブリ、カワウ、ゴイサギ、ダ
イサギ、コサギ、アオサギ、コブハクチョウ、
マガモ、カルガモ、コガモ、トモエガモ、オ
カヨシガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、ミコ
アイサ、ミサゴ、オオタカ、チュウヒ、チ
ョウゲンボウ、キジ、クイナ、バン、オオバン、
ユリカモメ、セグロカモメ、キジバト、カワ
セミ、コゲラ、ヒバリ、ハクセキレイ、セグ
ロセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、

ツグミ、ウグイス、ホオジロ、アオジ、オオ
ジュリン、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、
ハシボソガラス、ハシブトガラス 計46種
<探鳥班>、大久保陸夫、諏訪哲夫、榎本右、
宮下三禮、間野吉幸、古賀嗣朗、西巻実、常
盤孝義、吉田隆行、天野正臣、天野睦子、大
塚利行、大塚雅子、田丸喜昭、中野久夫、武
藤康之、松本勝英、松本葉子、片桐邦夫、山
田哲生、川村美智子、川村美恵子、橋本清、
松田幸保、岩田マキエ、北原建郎、六角昭男、
類地佑子、小林寿美子、木村稔、石渡成紀、
西嶋昭生、西嶋みどり、小玉文夫、吉川洋、
栗田励、田中悟、池田日出男、山内雅量、下
村蓉子(担当)桑森亮 参加者41名

<カウント班>佐々木隆、田中功、染谷迪夫

調査種	上沼	下沼	合計
カイツブリ	4	1	5
カンムリカイツブリ	2	2	4
カワウ	11	9	20
マガモ	15	100	115
ダイサギ	0	2	2
コサギ	6	10	16
アオサギ	6	1	7
コブハクチョウ	8	7	15
マガモ	0	6	6
カルガモ	28	53	81
コガモ	0	77	77
オオバン	2	0	2
ヒトリガモ	0	172	172
オナガガモ	0	2	2
オオバン	13	0	13
ユリカモメ	114	56	170
セグロカモメ	7	1	8
合計	216	499	715

<ピオトープ班>猪爪敏夫、川田光男、谷山晴男、鈴木静治

全般:昨夜の雨上がり快晴。周辺の丘紅葉中。飛ぶ鳥種類・数共多し

水田:二番稲穂枯れと田起し乾田の冬景色
 ピオトープ:観察・生息場ゾーンの葦・蒲・ススキの穂。水面に落ちた穂をガモ採餌
 行人:散歩・ランニング・サイクリングの人多い

1月手賀沼探鳥会とカウント

調査日時 2008年1月13日 9:00~12:00 晴れ・強風・気温8

<認めた鳥>カイツブリ、カンムリカイツブリ、カワウ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、コブハクチョウ、マガモ、カルガモ、コガモ、オナガガモ、ミサゴ、オオバン、ユリカモメ、セグロカモメ、キジバト、カワセミ、コゲラ、キセキレイ、ハクセキレイ、ピンズイ、タヒバリ、ヒヨドリ、モズ、ルリビタキ、アカハ

ラ、シロハラ、ツグミ、エナガ、ヤマガラ、シジュウカラ、メジロ、ホオジロ、カシラダカ、アオジ、オオジュリン、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス 計41種

<探鳥班>吉川洋、吉川民子、池田日出男、松田幸保、間野吉幸、栗田励、浅井久、小口勝久、北原建郎、大久保陸夫、山田哲生、中野久夫、野口隆也、常盤孝義、片桐邦夫、田丸喜昭、川村美智子、川村美恵子、橋本清、島崎純造、武藤康之、榎本右、松本勝英、天野正臣、天野睦子、西嶋昭生、西嶋みどり、石渡成紀、渡辺政一、坂巻宗男、吉田隆行、類地佑子、大塚利行、大塚雅子、宮下三禮、野口幸子、太田暁子、小玉文夫、西城猛、桑森亮 (担当)小林寿美子 参加者41名

<カウント班>木村稔、佐々木隆、田中功、染谷 迪夫

調査種	上沼	下沼	合計
カイツブリ	8	4	12
カンムリカイツブリ	3	3	6
カワウ	17	28	45
ダイサギ	5	1	6
コサギ	3	8	11
アオサギ	6	1	7
コブハクチョウ	12	6	18
マガモ	24	8	32
カルガモ	50	109	159
コガモ	6	0	6
ヒトリガモ	0	144	144
ホシバシロ	0	2	2
キンカバシロ	0	10	10
ミコアイサ	0	2	2
オオバン	21	13	34
ユリカモメ	23	26	49
セグロカモメ	2	1	3
合計	180	366	546

<ピオトープ班>猪爪敏夫、川田光男、谷山晴男、鈴木静治

全般:強風で沼も池も一面に波立つ。そのため飛ぶ鳥が少ない

水田:枯れた二番穂の乾田、田起しして僅か草の生える乾田

ピオトープ：峠下広場の草刈あり
通行人：強風のためウオーキング、ランニングの人は 20 人位と少ない

酒 沼 探 鳥 会

12月30日

圧巻！キクイタダキの大群湧き出る！

古賀嗣朗

1月 歴史深い「我孫子野鳥を守る会」に入会したての新老人です。なのに、昨年 12 月 30 日(日)の「酒沼探鳥会」に初めて参加させて頂きました。「指導仰ぎたくば感想文を書く事」の命に、拙文しか書けない身を省みず、書くはめに。

8時、胸躍らせて我孫子駅を出発しました。しかし、無情にも稲光・雷を伴う土砂降りの雨に見舞われました。10時、酒沼 最初の探鳥地の駐車場に到着した途端に、雨・霰に豹変しました。急遽、国民宿舎「いこいの村酒沼」に避難します。約 30 分のコーヒータムを取ると、やっと 雨あがる になりました。

ここから歩いて、いよいよ探鳥開始です。沼面にいきなり現れるキンクロハジロの群れに眼を瞪ります。他にもカモ類やカイツブリ類も泳いだり潜ったりしています。杭の上にはミサゴが鎮座して魚を啄んでいます。

林や草地を歩くと、ツグミやヒヨドリが鳴きながら飛んだり木に止ったりしています。メジロ、シジュウカラ、エナガの群れが木の枝で飛び跳ねています。すると、後方から「キクイタダキだ」の声に、急いで後戻りします。見ました！ 感激です！ これまで 1~2羽が高い木の上で、それも先端付近で、素早く動くのを教えて戴いた事がある。しかし、30 数羽もの大群が、しかも 14~15m の高木の 4~5m の高さに降りてくるのだ。探餌しているのか、木から木へと飛び移ります。

素早い動きに、スコープでは間に合わず、双眼鏡で見ている目移りして眼が回ります。カメラを撮る人達も シャッターを押す間もない程、飛び回ります。曇天なので、シャッタースピードが遅くなるのもその原因の一つでしょう。その内に「カシャカシャカ

シャ……」とシャッター音が鳴り響き始めます。双眼鏡で見る人も、カメラを構えている人も、一緒に夢中になって追いかけます。飛翔・群舞するキクイタダキを「晴れていればもっと綺麗に見えたらろう」と思う。

凡そ 30 分も経ただろうか、「お昼ですよ」の声に、ふと我に返りました。夢から覚めると、12 時近い時刻になっていました。広場のベンチで昼食を食べ、「いこいの村酒沼」でお土産を買います。13時、「老人ホーム ひぬまえん」のある酒沼北端に移動します。広々した田圃の電柱にチョウゲンボウやノスリが止まっています。電線には何百羽というカワラヒワやキジバトが横 2 列に止まっては 群れ飛びます。沼面を見ると鈴なりのスズガモやキンクロハジロの大群がいました。遠くに、カワアイサやホオジロガモも泳いでいます。「海面でのスズガモの群れ」は見た事があるが、「沼面に群れるスズガモ」は初めてです。急に空が掻き曇り、雨が降り始めます。急いで車に戻ります。次に、蜆を売る店に立ち寄ります。列をなして 1,200 円/kg の蜆をお土産に買いました。

酒沼を後に、次の目的地に向かいます。小美玉市を通過して、石岡市へと走ります。14 時半、橋を渡ると 霞ヶ浦の西端に到着です。湖面上一面にヨシガモ、マガモの群れが広がって浮いているのが見えます。これほど沢山のナポレオンの群れを見るのも初めてのことで感激です。ヒドリガモやコガモもいます。

予定通り 探鳥地を巡り、帰路につきます。15 時半、PA「谷田部東」にて「鳥合わせ」をして、解散です。16 時半、我孫子駅まで送って頂きました。快晴になっていました。参加者 24 名、6 台の車に仲良く 4 人ずつ分乗です。雷雨の中、安全運転をして頂いた運転手の皆様本当にご苦労様でした。お蔭様で波乱に満ちた感謝・感激の一日になりました。探鳥歴浅い、物忘れし易い老体です。本文も含め、多々間違いあると思いますが、お許しください。

今後とも御指導下さいますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

【幹事報告】

< 認めた鳥 > カイツブリ、ハジロカイツブリ、カンムリカイツブリ、カワウ、ダイサギ、アオサギ、マガモ、カルガモ、コガモ、ヨシガ

モ、オカヨシガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、キンクロハジロ、スズガモ、ホオジロガモ、ミコアイサ、カワアイサ、ミサゴ、トビ、オオタカ、ノスリ、チュウヒ、ハヤブサ、チョウゲンボウ、オオバン、ユリカモメ、セグロカモメ、キジバト、カワセミ、コゲラ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、タヒバリ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、アカハラ、ツグミ、クイタダキ、エナガ、シジュウカラ、メジロ、ホオジロ、カシラダカ、アオジ、オオジュリン、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、ハシボソカラス、ハシブトカラス 合計 52 種 番外イタチ

<参加者>木村稔、山田哲生、古賀嗣朗、松本勝英、松本葉子、大久保陸夫、諏訪哲夫、間野吉幸、宮下三禮、桑森亮、松田幸保、中野久夫、小玉文夫、井上正、石渡成紀、田中功、鈴木静治、猪爪敏夫、西巻実、金成典知、田丸喜昭、田丸メリールイス、飯島博（担当幹事）北原建郎 参加者 24 名

波 崎 探 鳥 会

1 月 3 日

カモメよ名札を付けてくれ！

山田哲生

4 日前の 12 月 30 日の潤沼探鳥会は 12 月にはめずらしく時おり雷まじりの大雨が降るといふ“コウテン”に恵まれ、今日はチョー快晴で風もないという素晴らしい“コウテン”に恵まれた。同じ“コウテン”でも荒天と好天ではコウも気分が違うものかと思いつつ今年最初の探鳥会に参加した。

私は初参加だが、他のメンバーは毎年参加されている様子なので皆さんは暮れ正月もなく探鳥をしているのかと感心していると以前は 2 日、3 日と連続して探鳥会をしていたと言うからますます驚きである。

さて、最初に向かったのは小見川大橋近くの土手の上。ここはワシ、タカ類が見られるポイントだそうで、なるほどミサゴ、ノスリが電柱の上で羽を休め、トビが真っ青の空を気持ち良さそうに舞っていた。今日はいつもいるチュウヒがいないなあー、雑煮を食べ過ぎて休んでいるのか、風がないので飛ばない

のかなどと言い合いながら次の探鳥地の神の池へと向かう。

神の池は細長くさほど大きくはない池で、工場群が池の際まで迫っていて何本もの大きな煙突からもくもくと上がる煙を見ながらの探鳥となる。ホシハジロ、ヒドリガモ、マガモが近くを泳ぎ、ミコアイサが遠くに群れている。シナガチョウとバリケンがいたので“神の池よお前もか”と近親感をおぼえた。

ちょうど 12 時に波崎のかもめ公園に到着し、春のような暖かい陽射しをあびながら昼食をとり、午後は波崎港、海水浴場周辺の探鳥となる。カモメ類の圧倒的な数の多さに驚き、その一斉に飛び立ったときの壮観さに目を見張った。だれかが嘴が黒く赤い足なのであれはワシカモメだろうと言う。するとすかさず、いやあれはセグロカモメの幼鳥だと訂正が入る。嘴の先が黒と赤になっているのは何か聞くとウミネコだと言う。カモメの見分け方と言う図鑑を見せてもらうと第 3 回冬羽の嘴の先は黒だけになっている。ああー、カモメは解りづらい。それぞれが名札を付けていて欲しいと冗談を言っている人がいる。まったく同感である。

お目当ての一つであるシノリガモが遠くの波間に見えるという。さっそくスコープを覗かせてもらうがよくわからない。しかし、後ろのほうから心の曲がっている人にはよく見えないものなどと言っている声が聞こえてきたので白斑がよく見えたなどと思わず嘘を言ってしまった。もう一つのお目当てのミヤコドリは見られなかったが、広々とした砂浜と青い海も楽しんで最後の探鳥地の北浦湖岸に向かう。

北浦湖岸で多くの観光客にまじってオオハクチョウやキンクロハジロ、ホシハジロなどに餌をやったりして楽しんだ後、近くの丘の上にあるかんぼの宿潮来へ移動し、鳥合わせをして今日の探鳥会を終えた。

野鳥への探究心の欠如と探鳥会への参加不足により未だにビギナーを脱却できず、スコープもない私。とても感想文など書けるはずもないのだが、2 日前に参加をお願いしたのにもかかわらず心よく手配をして下さった松田さんに依頼されては断るわけにもいかず、こうして“とり”とめのないことを書くことになってしまった。今年こそジャンボ

宝くじを当ててスコープを買おう！

それまでは、皆さん、今までのようにスコープを覗かせて下さい。
私に親切にしてくれた人にはきっと神のご加護があります。

今年もどうぞよろしく願います。

【幹事報告】

<認めた鳥> カイツブリ、ハジロカイツブリ、ミミカイツブリ、カンムリカイツブリ、カワウ、ウミウ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、コブハクチョウ、オオハクチョウ、マガモ、カルガモ、コガモ、オカヨシガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、ハシビロガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、スズガモ、クロガモ、シノリガモ、ミコアイサ、ミサゴ、トビ、ノスリ、チュウヒ、ハヤブサ、チョウゲンボウ、バン、オオバン、シロチドリ、タゲリ、ハマシギ、ミユビシギ、イソシギ、ユリカモメ、セグロ

カモメ、オオセグロカモメ、ウミネコ、カモメ、キジバト、カワセミ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、タヒバリ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、イソヒヨドリ、アカハラ、ツグミ、ウグイス、メジロ、ホオジロ、カシラダカ、アオジ、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス 計 63種 番外 コクチョウ、シナガチョウ、バリケン、カワラバト

<参加者> 田丸メリールイス、山本貞江、松本勝英、大久保陸夫、鈴木静治、田中功、西巻実、金成典知、古賀嗣朗、間野吉幸、中野久夫、宮下三禮、小玉文夫、猪爪敏夫、大塚利行、大塚雅子、首藤佑吉、首藤美恵子、桑森亮、山田哲生(担当幹事) 田丸喜昭、松田幸保 計 22名

市民手賀沼探鳥会

日時：2008年1月27日(日) 9:00~12:00

天候：快晴、風：弱

場所：手賀沼遊歩道

当探鳥会は我孫子市環境レンジャーと当会共催の探鳥会で一般市民を対象に、探鳥の楽しさや野鳥への理解を深めて戴くことを目的に毎年開催しています。この日は好天に恵まれ大変楽しい探鳥会になりました。一般市民の参加者 30名を 5班に分け、当会会員と環境レンジャーが夫々の班毎に丁寧な野鳥観察指導を行いました。各班の認めた野鳥は 31種から 36種、合計 40種の野鳥を観察することが出来ました。水鳥の数が少ないのは残念でしたが、人気のカワセミが何度も観察できた班は、コバルトブルー色の輝きに歓声を上げていました。またモズが至近距離で何度も見られ、小さいながら精悍な姿に大変満足された様子でした。参加された一般市民の方からは、大変良かったとの言葉を戴きました。

<認めた鳥> カイツブリ、カンムリカイツブリ、カワウ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、コブハクチョウ、カルガモ、コガモ、オナガガモ、ミサゴ、バン、オオバン、タシギ、ユリカモメ、セグロカモメ、キジバト、カワセミ、コゲラ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、タヒバリ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、ツグミ、ウグイス、エナガ、シジュウカラ、メジロ、ホオジロ、アオジ、オオジュリン、カワラヒワ、シメ、スズメ、ムクドリ、カケス、ハシボソガラス、ハシブトガラス 計 40種 番外：シナガチョウ、アヒル、バリケン、カワラバト

<参加者> 一般市民 30名、当会会員、環境レンジャーおよび我孫子市職員 14名 小口勝久、田村和平、佐々木隆、染谷迪夫、諏訪哲夫、石渡成紀、桑森亮、金成典知、猪爪敏夫、鈴木静治、秋谷仁子、間野吉幸、三浦勝良、矢竹晴子 参加者 44名

第 17 回手賀沼ふれあい清掃

恒例の年末の手賀沼ふれあい清掃が実施されました。

日 時 平成 17 年 12 月 2 日 (日) 9:30 ~ 11:30

集合場所 手賀沼公園 多目的広場

清掃エリア ふるさとコース (手賀沼公園 ~ 根戸新田)

参加者 染谷迪夫、宮下三禮、佐々木隆、諏訪哲夫、野口隆也、片桐邦夫、猪爪敏夫、
小玉文夫、松田幸保、間野吉幸、木村稔、坂巻宗男、坂巻はなの、松本勝英、
松本葉子、天野正臣、天野睦子 参加者 17 名

第 25 回いも煮会を開催しました

今年の芋煮会は、晴れて風もなくおだやかな芋煮会でした

日 時 平成 19 年 12 月 16 日 (日) 10:00 ~ 14:30

場 所 五本松公園キャンプ場

参加者 赤尾完、猪爪敏夫、大久保陸夫、小玉文夫、小玉信子、小林寿美子、太田暁子、
大野真澄、片桐邦夫、北原建郎、木村稔、中尾正直、中野久夫、宮下三禮、六
角昭男、野口隆也、橋本清、西巻実、桑森亮、志賀鉄雄、島崎純造、首藤佑吉、
鈴木静治、諏訪哲夫、染谷迪夫、田中功、常磐孝義、戸塚道、山田哲生、松本
勝英、松本葉子、間野吉幸、松田幸保、井上正、類地佑子、野口幸子、伊藤貴
子、吉田隆行、大塚利行、大塚雅子 参加者 40 名

< 芋煮会 メニュー >

芋煮なべ、やきとり、鉄板焼き (やきそば)、やきいも、参加者手製料理等
ビール、日本酒、ワイン、焼酎、ジュース、お茶等

平成 20 年 1 月 幹事会 報告

日 時 H20 年 1 月 13 日 (日) 13:30 ~ 16:00

場 所 アピスタ 1F 工芸工作室

議 題

1. H20 年上期 行事予定

4 月から 9 月までの定例探鳥会、日帰り、一泊探鳥会、その他行事予定を検討し決定した。

(行事予定は本号に掲載)

2. 会報 201 号掲載記事について

会報 201 号に掲載する記事を検討した。(行事予定、実施工事の感想文、報告など)

3. 第 3 四半期会計報告

4 月から 12 月までの会計状況の報告。(予算どおり推移している。)

4. 報告・検討事項

当会 HP の開設について

当会のホームページ開設について検討委員会より検討結果の報告があった。この 8 月を
目途に HP を開設することとした。これに従い、HP 作成部会を設置した。

当会バッジ作成について

当会 30 周年記念行事として作成したバッジを再度製作することを決定。バッジは希望の会員に有料にて配布する。

市民活動フェアについて

3月1日~2日にアビスタで開催される市民活動フェアに当会も参加。展示パネルとステレオ紙芝居を企画し、会員の多数の参加を呼びかける。

メーリングリストの統合について

今までにいくつかあったメーリングリストを一本化して会員の相互の情報交換を便利でわかりやすくするように準備を始める。

平成 20 年度上期行事予定

実施日	行 事	担 当
4/13(日)	手賀沼定例 BW Pm 定期総会	松田
4/19(土)	三番瀬・谷津干潟探鳥会	桑森、松田
5/3(土)	筑波山探鳥会	野口(隆)、染谷
5/11(日)	Enjoy 手賀沼 BW Pm 幹事会	事務局
5/24(土)~25(日)	戸隠高原探鳥会	猪爪、西嶋、鈴木
6/8(日)	手賀沼定例 BW	桑森
6/22(日)	飯岡・笹川探鳥会	北原、小玉
7/6(日)	手賀沼学会パネル出展	間野、宮下他
7/13(日)	手賀沼定例 BW Pm 幹事会	小林、北原
7/26(土)	Pm 映写会 納涼会(夕方から)	諏訪、吉田 北原、染谷
8/3(日)	ホタルの夕べ	木村、染谷
8/10(日)	手賀沼定例 BW	北原
8/31(日)	葛西臨海公園探鳥会	諏訪、野口(隆)
9/14(日)	手賀沼定例 BW Pm 幹事会	佐々木
9/22(月)~23(火)	白樺峠探鳥会	猪爪、桑森

平成 20 年度定期総会

日 時 4月13日(日) 1:30~

場 所 アビスタ1F 工芸工作室

議 題 1.平成19年度事業報告、同決算報告
2.平成20年度事業計画案、同予算案
3.その他

平成19年度の成果と反省を総括し、平成20年度の活動方針等を決める総会です。出来るだけ多数の会員の出席をお願いし、活発な総会になるよう期待いたします。

『茨城県涸沼のシジミ物語』

田丸喜昭

我孫子野鳥を守る会では、毎年末の12月30日に、参加者20数名が車に分乗して、水戸市近くの涸沼と霞ヶ浦の一番北端にある石岡市高浜へ探鳥に出かけ探鳥を楽しんでいる。

何年か前から、早い午後に、涸沼を離れる前に、細い道路わきにある小売店で、参加者が涸沼のシジミを買い求める習慣ができた。最初的时候は、一度にあまり大勢が買い求めようとしたので、店で仕入れてあったシジミが足りなくなり、皆で小分けして買い求めた。その次の年は、「砂抜き」したシジミの量が間に合わず、一部の人達は、砂抜きしていないシジミを買わざるをえなかった。その後、担当リーダーが、あらかじめこの店に事前に参加者数を連絡し、十分に仕入れてもらうようになった。しかし、平成17年と18年の年末は、涸沼のシジミが不漁であり、私たちは手に入れることができず、何人かの人達は、その代わりに、茨城特産の「乾燥芋」を買っていた。平成19年末から、シジミの不漁が解消し、十分に供給できることがわかった。

この年のシジミは、サイズは例年より小さかったが、多くの人達が1キロ¥1,200で買い求めた。シジミは、事前に砂抜きしてあったが、店主の話では、この寒い時期には、シジミは深い場所にもぐっているのだから、自宅で料理する前に、4時間ほど水に漬けてさらに砂抜きを完全にすることをすすめた。急いで砂抜きをするには、水の温度をやや高めにすれば、早くできるとのこと。前日あがったシジミなので、水に漬けずに冷蔵庫で保管すれば、10日間ほどはもつだろうとのこと。砂抜きをして、水をきり、冷凍庫で保管もできるそうで、冷凍したものは、料理前に解凍せず、そのまま使用すれば、味が一層よくなるとのことだった。

さて、何回かこの探鳥会に参加している方は、私が、その日家に帰ったら、砂抜きをして、シジミスパゲッティを作り楽しんでいることをご存知と思う。特別の調理方法があるわけではないが、オリーブオイルに小さく切ったニンニクを入れ、暖めて香り移してから、シジミを300-400グラム入れ、塩、黒胡椒、白ワインを振りかけ、赤唐辛子、好みのスパイスを振り、ピザ用のチーズをのせて溶かし、やや硬めに茹で上げたスパゲッティを入れるだけで出来上がり。正月に入り、シジミの塩汁の中に焼餅をいれると、これもいける。三回目は、第一回のものに、刻んだタマネギを炒めたものを加えた。是非、試してみてください。

『ありがとうございました』

野口幸子

例年だと庭の片隅にあるムラサキシキブ(低木)は、実が少なくなってくると、短くカットしていたが、今年はいくつも実がなり、11月頃からジョウビタキ()がくるようになった。年末近くになると、毎朝8時頃、10分余り、小さな枝の間を移動したり、はばたいたり楽しそうにしている様子をガラス越しにみるのが私の日課にもなっていた。それが正月2日を最後に彼の訪問が終わってしまった。よくみたら紫の実が全部なくなっていた。当然のことながら淋しい。(反省・実がなくなる迄自然にしておく。)

整っている庭ではないけれど、又多くはないけれど野鳥たちと交流がもてるように私を(それも高齢になってから)育ててくださった会員の皆様長い間お世話になりました。この3月で退会させていただきます。近くの遊歩道や里山でお会いすることがあります。

たら、又教えてください。まだまだ自然の残るこれらのフィールドが大切にされることを願いつつ。

会 員 便 り (ab-birdnet, ab-news より)

北新田

- ・ タゲリは耕起作業中の田んぼに 16 羽、中央学院のグラウンドに 34 羽、ゴルフ場に 6 羽集まっていた。
- ・ ハクセキレイ 30+ も耕起作業中の田んぼに集まっていた。(12/17 中野久夫)
- ・ タゲリは青山水門近くのホウレン草畑で採餌していました。西隣の柏市弁天下の耕田には 80 羽のタゲリがいました。(01/01 中野久夫)
- ・ タゲリは青山水門近くのほうれん草畑でうずくまり、頭だけ出して休んでいました。
- ・ キジバトとムクドリは耕したばかりの田んぼに集まり採餌していました。
(01/16 中野久夫)
- ・ イカルチドリは青山水門近くの 2 号排水路にいました。
- ・ タゲリは西隣の弁天下との境界近くの畑にいました。(02/01 中野久夫)

トラツグミを拾う

1 月 30 日、東我孫子にある近隣センター「こもれび」の敷地内で女性スタッフが小鳥の死体を拾いあげました。なんとトラツグミでした。状況判断から建物のガラスに激突したものと推測されます。口ばしの根元あたりから血が流れ出ていました。東我孫子をトラちゃんが飛んでいるなんて全く予想外でした。それにしてもモットイナイ。死体は鳥博に持参し役立てて頂くことにしました。ちなみに当近隣センターは衝突防止用のタカシールをガラスに貼ってあります。まだ不十分と思われるので、さらなる対応策を検討中です。(02/02 首藤佑吉)

鳥 だ よ り

11.19 [下沼田] 刈 (1) 鉄塔に止まる	志賀鉄雄	11.20 [手賀沼上沼] 刈 (1) 物色飛翔	志賀鉄雄
11.19 [下沼田] 刈 (1) 鉄塔に止まる	志賀鉄雄	11.20 [手賀沼上沼] 材刈 (24) 鳴声と共に飛翔	志賀鉄雄
11.20 [千間橋] 材刈 (1) 地面でドバト採餌	志賀鉄雄	11.20 [手賀沼上沼] 材刈 (1) 大井の林へ	志賀鉄雄
11.20 [中沼田] 刈 (1) 杭上に	志賀鉄雄	11.22 [布佐下新田] 刈 (1) 低いパイプ上に	志賀鉄雄
11.20 [中沼田] 刈 (1) 低地集水路、		11.22 [相島新田] 刈 (1) パイプ上に	志賀鉄雄

- 11.22 [下沼田] 比^レ(2) 帆翔 志賀鉄雄
 11.24 [北新田] ノリ(1) 田んぼ上物色飛翔 中野久夫
 11.24 [北新田] ㊦(1) ㊦原上物色飛翔 中野久夫
 11.25 [岩井新田地先] ミカ^レ(1) 下沼から上沼へ飛翔 桑森亮
 11.25 [片山新田地先] 比^レ(1) 飛翔 桑森亮
 11.25 [片山新田地先] 材カ(1) 下沼から手賀丘公園上空を汎翔 桑森亮
 11.26 [手賀新田] ㊦^レノリ(1)鉄パイプ上に 志賀鉄雄
 11.26 [布佐下新田] ㊦^レノリ(1) 飛翔 志賀鉄雄
 11.26 [布佐下新田] ノリ(1) 電柱上に 志賀鉄雄
 11.26 [低地集水路] ㊦^レ(1) 志賀鉄雄
 11.26 [手賀沼下沼] ミカ^レ(1) 飛翔 志賀鉄雄
 11.26 [手賀沼上沼] ㊦^レノリ(1) 葦中より声 志賀鉄雄
 11.26 [北新田] 材カ(1) 河川敷柳上 中野久夫
 11.27 [手賀川] ㊦^レノリ(1) 葦中を移動 志賀鉄雄
 11.27 [北新田] ハブサ(1) 電柱上 中野久夫・金成典知
 11.29 [中沼田] ㊦^レノリ(1) ホバリング 志賀鉄雄
 11.29 [中沼田] 材カ(1) 飛翔 林の影に 志賀鉄雄
 11.30 [北新田] ㊦^レノリ(1) 電柱から飛去 中野久夫
 12.02 [発作下前川橋] ㊦^レ(1)9:18、川の中州に静止して周囲を警戒していた 飯泉仁
 12.02 [平塚] ノリ(1) 9:40、農道沿いの電線に止まっていて、その後カスに追尾され飛び立った 飯泉仁
 12.02 [平塚] ㊦^レノリ(1) 10:04、谷地の高圧線の鉄塔に止まり、その後カスに追尾され逃げ惑っていた 飯泉仁
 12.02 [泉] アリ(4) 11:30、じゃぶじゃぶ池周辺の木に止まって木の枝にいる虫を採餌 飯泉仁
 12.02 [泉] ㊦^レダキ(2) 11:30、じゃぶじゃぶ池周辺で鳴きながら移動 飯泉仁
 12.02 [下沼田] コノチヨ(2) 利根川方面へ 志賀鉄雄
 12.02 [片山新田] 材カ(1) セイタカアワダチソウに 志賀鉄雄
 12.02 [北新田] ㊦^レノリ(1) 畦の排水栓から飛立ち 中野久夫
 12.03 [中沼田低地集水路] ㊦^レ(1) 飛び立ち 志賀鉄雄
 12.04 [下沼田] ㊦^レ(1) 水際低く飛び 志賀鉄雄
 12.06 [下沼田] ㊦^レノリ(1) 田より飛び立ち 志賀鉄雄
 12.08 [清水口3-35清水口調整池] 材カ(9) 成鳥4、幼鳥5 飯泉仁
 12.08 [下沼田低地集水路] ㊦^レ(1) 岸辺に 志賀鉄雄
 12.08 [下沼田] ハブサ(1) 鉄塔(上部)に止まる 志賀鉄雄
 12.13 [手賀沼下沼] ㊦^レノリ(1) 飛翔 志賀鉄雄
 12.14 [千間橋] ㊦^レノリ(1) 高い杭に止まる 鈴木静治
 12.15 [泉入口] 材カ(1) 14:50、上空を巡回していた 飯泉仁・久美子
 12.15 [染井入新田地先] ミカ^レ(1) 下沼杭上 桑森亮
 12.15 [染井入新田地先他] ㊦(3) 2羽下沼から葦原周辺を飛翔、1羽下沼の東から上沼方面へ飛翔 桑森亮
 12.15 [片山新田地先] ㊦^レノリ(1) 葦原 桑森亮
 12.15 [下沼田] ㊦^レ(1) 志賀鉄雄
 12.16 [北新田] 材カ(2) 成鳥1: 耕田から飛立ち、幼鳥1:越流堤横柳上 中野久夫・金成典知
 12.18 [手賀沼下沼] ㊦(1) 物色飛行 志賀鉄雄
 12.18 [根戸] ㊦^レノリ(4) 草地で㊦^レチの実を採食 中野久夫
 12.19 [水道橋] 材カ(1) 木に止まる 志賀鉄雄
 12.20 [手賀沼下沼] ㊦^レノリ(1) 蓮田、葦中より声 志賀鉄雄
 12.20 [大井] ハブサ(1) 電柱上より飛び立ち 志賀鉄雄
 12.20 [布施] ㊦^レノリ(7) 草地で㊦^レチ

セウカガチツの実を採食	中野久夫	飯泉仁・久美子
12.23 [東中新宿] フォウ`ポ`ウ(1) 11:00、		01.13 [上沼田] ヒ` (1) 上空を飛行
レース鳩約30羽を追尾して自宅上空を通		鈴木清治・猪爪敏夫・川田光男・谷山晴男
飯泉仁・久美子		01.13 [高野山] ミカ` (1) 手賀沼上空を
12.23 [光ヶ丘広池学園] マガラ(3) 楷の		飛ぶ
木と桜の木に飛来	飯泉仁	鈴木静治
12.14 [鷺野谷新田] ミカ` (1) 沼の中の		01.16 [北新田] イヅ` (1) 2号排水路で
杭に止まる	鈴木静治	中野久夫
12.16 [浅間前] フォウ`ポ`ウ(1) 電柱上に		01.17 [北新田] 材カ(1) 休耕田で
止まる	鈴木静治	中野久夫
12.27 [布佐平和台] フォウ`ン`ポ`ウ(1) 高压		01.20 [岡発戸谷津] ベ`ニ`シ`コ(1)、採餌
塔の中程に止まる	鈴木静治	中
01.18 [上沼田] フォウ`ン`ポ`ウ(1) 物色飛翔		01.20 [岡発戸谷津] マ`ワ(10) 木と木を
大久保陸夫		移動
01.18 [岡発戸新田] ベ`ニ`シ`コ(1) セイダ		首藤美恵子
カアワダチ草で採餌	大久保陸夫	首藤美恵子
01.18 [岡発戸新田] ミカ` (3) 手賀沼湖		
上を物色飛翔	大久保陸夫	
01.01 [片山新田地先] ト`ヒ`ガ`モ(1) 下沼		
飛び立ち	桑森亮	
01.01 [手賀新田] フォウ`ン`ポ`ウ(1) 散水栓		
から飛び立ち	桑森亮	
01.02 [江蔵地] イヅ` (1) 利根川干潟で		
採餌	鈴木静治	
01.02 [江蔵地] フォウ`ン`ポ`ウ(1) 柵の杭に止		
まる	鈴木静治	
01.02 [中峠] フォウ`ン`ポ`ウ(1) 葦原を停飛		
し獲物を狙う	鈴木静治	
01.05 [浅間前] ノ`リ(1) カ`スに電柱上よ		
り追われる	鈴木静治	
01.10 [古戸] ノ`リ(1) 採餌行動		
	諏訪哲夫	
01.13 [岩井] ヒ` (1) 13:50、カラス2		
羽に追尾され上空を旋回していた		

今回の観察者の総投稿件数

赤尾完	1
飯泉久美子	8
飯泉仁	515
飯泉仁・久美子	211
大久保陸夫	20
桑森亮	17
志賀鉄雄	95
首藤恵美子	11
首藤佑吉	3
鈴木静治	45
諏訪哲夫	14
染谷迪夫・木村稔・佐々木隆	
田中功	34
染谷迪夫・佐々木隆・田中功	33
中野久夫	47
中野久夫・金成典知	14
総計	1078

(諏訪哲夫)

新会員紹介

池田日出男・池田紀子(我孫子市) 田中悟・田中登志子(我孫子市)
山内雅量(我孫子市) 下村蓉子(我孫子市)

ほーほーどり No201 2008年(3～4月号)

発行 2008年3月1日
 発行人 我孫子野鳥を守る会 会長 間野吉幸
 編集人 猪爪敏夫、小玉文夫、佐々木隆、野口紀子、松本勝英、宮下三禮
 事務局 染谷迪夫 〒270 1154 我孫子市白山 1-9-4 Tel 04 7182 3972
 振替 00140-2-647587 我孫子野鳥を守る会
 会費 年会費 2,000円(大学生・高校生 1,000円、中学生以下 500円、家族会員 無料)